

はずべし、はずべし

登山状



和順

永観堂法主 玄禮



わがまま、ごう慢に生きていて、その上、死んだら地獄じやなく、極楽に生まれたいと願う、そんなごう慢さを私たちは持っています。

自分のごう慢さかげんに気づいたとき、そんな私でも救わんとする弥陀佛のありがたさが、心に染みいります。

その染みいった生き方こそ、私たちの生きるべき姿であります。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県高砂市在住山田フジ子様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽籤し一名に進呈。

正語

(しょうご)

慈光
照顧

永観堂法主

玄禮



滋賀県長浜市浅井中学校の生徒が、ギネス記録に挑戦。種目は「二百七十人二百七十一脚」で、五〇メートルを歩けば二百六十一人を抜いて新記録です。

そして五七秒で完歩し、見事達成したと生徒たちも先生も大喜びをしました。

ところが、一人の男子生徒が母親と一緒に、担任の先生に「自分の足のひもが、ほどけてしまいました」と申し出ました。

撮影したビデオ映像では確認できないし、見ていた人たちも誰も気付かなかつたので、学校側は、悩みます。中学生の申し出を添えた形でギネスに申請しようという話もあったのですが、結局申請を取りやめました。事実を申し出た中学生の勇気を尊重した結果でした。

正しい言葉は、正しい結果を生みます。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮現下のご染筆です。前々号の色紙は、愛知県名古屋市中住武田孝広様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽籤し一名に進呈。

悪のなかに
たのしみをもつなかれ

法句經

諸悪
莫作

総本山永観堂法主

玄禮



悪しきことに
心して足を
踏み入るなけれ
しかるに
悪しきこと
図らずも
行わば
気づきしとき
咎められしとき
すぐさま
止めるがよい
悪しきことに
楽しみを
見出すなかれ
悪しき行為
悪しき業わざ
つもり積もりて
汝を
重く押し潰さん

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、愛知県名古屋市在住島本幸子様へお申し込み下さい。抽籤し一名に進呈。

念々不捨者

善導大師



一心専念

総本山永観堂法主 玄禮



「住職さんは日に何遍くらいお念佛をお称えしますか？」

「さあ、数えたことはありません。さっきのお念佛はさっきのお念佛。今称えたのは今のお念佛です」

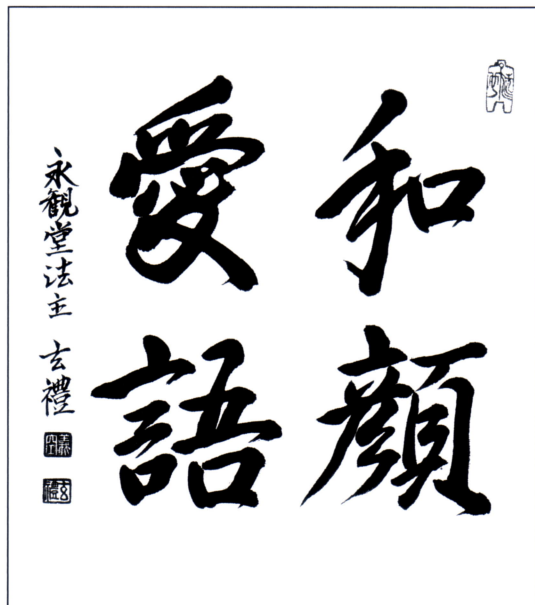
止まることなく心は移り、刻々と新たに生まれ変わります。

その度、その度、新たなお念佛。

阿弥陀佛は休むことなく私たちを念じて下さっているのですから。

総本山 永観堂 禅林寺

無財の七施



眼 施 やさしいまなざし
 和 顔 施 やさしいほほえみ
 愛 語 施 やさしい言葉
 身 施 さしのべる手
 心 施 心配り
 床 座 施 みずから席を立てて人に譲ること
 房 舎 施 自分のいるところに人を温かく迎え入れること
 必ず私にもできます。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県姫路市在住原嘉代子様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽籤し一名に進呈。

福聚海無量

観音經



福
無量壽海

永観堂法主 玄禮



南無観世音菩薩
南無観世音菩薩

観世音菩薩は

三十三身に変化して

悩み苦しむ人を

救い下さるという

気付かれよ

今まさに

眼前にいる

観世音に

慈父の姿あり

悲母の姿あり

はた

夜叉 羅刹

阿修羅の姿あり

観世音を念ぜよ

観世音を念ぜよ

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮現下のご染筆です。前々号の色紙は、愛知県みよし市在住宮澤修様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽籤し一名に進呈。

熙^き怡^い快^け楽^{らく}
身心の和らぎ喜ぶこと 無量寿経



熙快 怡楽

永観堂法主 玄禮



鳥は、どうして大空を飛ぶことができるのでしょうか。

「大きな翼ではばたくから」

「流線型の身体をしているから」

「軽い身体になっているから」

きつと、どれも正解でしょう。

でも、こういう答があります。

鳥があんなに大空を飛ぶことができるのは、疲れたら休める枝があり、夜になったら帰ることのできる巣があるからだ。

身も心も安らぐところがあれば、私たちは前に進んでいきます。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猷下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県宍粟市在住矢野英子様へ贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽籤し一名に進呈。

平等即差別 しやべつ
差別即平等



雑華 嚴浄

永観堂法主 玄禮  

手塩に掛け

整った庭で

色鮮やかに咲く花も

人知れず

野辺に咲く

小さい素朴な花も

はた

「雑草」と

一括りで呼ばれる

嫌われ草も

姿形

佇まいは違えども

それぞれは

等しく

それぞれが

尊く

それぞれに

存在の価値がある

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県姫路市在住大濱淳子様に贈呈します。
ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽籤し一名に進呈。

意^い
和^わ
敬^{きよう}

信仰の心が、通じあう

意和敬

永観堂法主 玄禮



近所のある家庭で、こんなことがありました。二人のお子さんに恵まれたものの、二人には、生まれつきの病気があつて、成人までは生きられないと医師に宣告されていました。

ある朝、その長男が亡くなったとの連絡を受けました。私は一体どういふ言葉をかけようかと迷いながら、重い気持ちで向かいました。

すると、横たわる長男の前で、お母さんはこう話してくれました。

「この子は、私たち夫婦を選んで生まれてきてくれました。だから、ありがとうつて送り出したいです。私たち夫婦は、とても幸せです」この言葉に、私自身が救われました。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猷下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県姫路市在住大濱淳子様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽籤し一名に進呈。

佛心者大慈悲是

観無量寿経

佛心



永観堂法主 玄禮



何事もなく続くはずであった日々が突然に消え去る。圧倒的な無常の世に私たちは暮らしています。

その中であつてどれだけ他の人のために尽くすことができるのか。これを菩薩行と言います。

不安で泣いている人にはほほえみかけ、苦しみに泣いている人と一緒に涙を流す。一途で純真な慈しみと悲しみ。

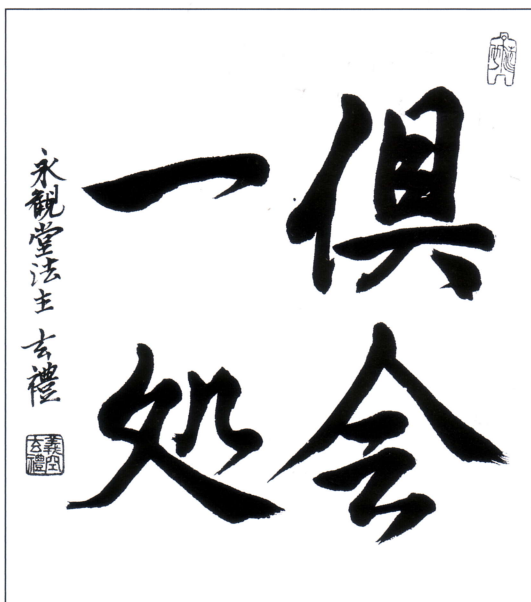
これこそがお念佛の姿と信じて、何度も何度も御佛の名を呼び続けます。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県小野市在住國井茂樹様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽籤し一名に進呈。

俱会一处

阿弥陀経



父は、永く母の看病をしていた。しかし、その父が倒れ、あつけなく逝ってしまった。

「お母さんを連れて行かないでね」と父の遺影につぶやいた。でも、母は後を追うように逝った。

「早く行きたかったのね」と慰めてくれる声に、納得しようと試みた。

二人が並ぶ遺影に手を合わせると、仲の良い夫婦を素直に嬉しく思えた。「連れて行かないで」と言ったこと、「早く行きたかった」と納得しようとしたことは、全て私の独り相撲だった。

手を合わせれば、受け入れられる。阿弥陀さまのもと、二人が仲良く蓮華の上に座っている。あるがままの姿を今は素直に受け入れられる。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県姫路市在住西山礼子様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽籤し一名に進呈。

われはこれ無智の身なり

法然上人



積善
余慶

永観堂法主 玄禮



「私はだれにも迷惑をかけず、自分一人の力で生きている」と、どれだけの人が胸を張って言うことができるだろうか。

日々、私たちは知らず知らずに、他人を妬^たんではいけないだろうか。

嫉^{そね}んでいけないだろうか。

僻^{ひが}んでいけないだろうか。

侮^{あなど}つていけないだろうか。

嘲^{あざわ}つていけないだろうか。

蔑^{さげす}んでいけないだろうか。

素直に自らを省みることができた時、阿弥陀如来の慈悲の光に照らし出されるのである。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、愛知県みよし市在住小野田二重様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽籤し名に進呈。